

資料編

1. 用語の解説

あ 行

■育児休業

育児・介護休業法に定められた、原則1歳未満の子どもを養育するための休業のこと。

■一般事業主行動計画

女性活躍推進法に基づき、事業所が自社の女性の活躍に関する状況の把握や管理職への女性登用等、具体的な取組内容をまとめたもの。一定数の労働者を雇用する企業に、策定・公表が義務付けられている。

■LGBTQ+

性的マイノリティ（性的少数者）の総称として使われる頭文字を並べた言葉。

Lesbian	レズビアン	こころの性が女性で、好きになる性も女性。
Gay	ゲイ	こころの性が男性で、好きになる性も男性。
Bisexual	バイセクシュアル	好きになる性が男性・女性の両方。
Transgender	トランスジェンダー	からだの性とこころの性が異なる。
Questioning	クエスチョニング	自分の性のあり方が自分でも分からない。自分の性のあり方を探している途中である。性別を決めたくない。
Queer	クィア	性的マイノリティの総称のひとつ。差別的に使われる意味だったが、最近は当事者が自称する表現として使われている。
+	プラス	ほかにも様々な性のあり方があることを示す。

■エンパワーメント

「em+power」で「パワーを与える」という意味になり、男女共同参画の分野では女性が自らの意識と能力を高め、家庭や地域、職場等、社会のあらゆる分野で、政治的、経済的、社会的、文化的に力をつけること、及びそうした力をもった主体的な存在となり、力を発揮し行動していくことをいう。

か 行

■介護休業

育児・介護休業法に基づき、労働者が要介護状態（負傷、疾病または身体上もしくは精神上の障害により、2週間以上の期間にわたり常時介護を必要とする状態）にある家族を介護するために認められている休業のこと。

■家族経営協定

家族で営農を行っている農業経営において、家族間の話し合いをもとに経営計画や、各世帯員の役割、就業条件等を文書にして取り決めたもの。農業経営に関するルールを明確化し、農業経営の近代化を図ることを目的とするもので、女性農業者の地位の確立や農業後継者の育成につながることを期待されている。

■強制的性交

暴行または脅迫によって性交・肛門性交・口腔性交をすること。

■グローバル・パートナーシップ

地球規模の協力関係。世界平和、環境問題等、世界的問題の解決のために提携すること。

さ 行

■ジェンダー

「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間には生まれつきの生物学的性別（セックス／Sex）がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー／Gender）という。「社会的・文化的に形成された性別」は、それ自体に良い、悪いという価値を含むものではなく、国際的にも使われている。

■ジェンダー・ギャップ

各国における男女間の格差を数値化し、ランク付けしたもの。世界経済フォーラムが、経済、教育、保健、政治の4つ分野のデータから作成し、毎年発表している。

■性的マイノリティ

性的少数者のこと。「レズビアン」「ゲイ」「バイセクシュアル」「トランスジェンダー」等、性のあり方が少数派の人々を表す総称。LGBT、LGBTQ+、セクシュアルマイノリティとも呼ばれる。

■セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（Sexual and Reproductive Health and Rights：SRHR と略される）は、自分のセクシュアリティや望む時に望むだけのこどもを持つことを全ての人が自分で決められる性と生殖に関する健康と権利のこと。このため、避妊の方法や不妊治療について知ること、生殖器のがんや感染症の予防や治療について知ること、母子保健や育児支援が重要であり、SRHR はこれらすべてを大切にす理念である。

■SOGIE

SOGIとは、Sexual Orientation and Gender Identityの略で、ソジ・ソギと読み、「性的指向と性自認」という意味。それに性別表現（Gender Expression）を加えた用語がSOGIE（ソジー・ソギー）である。なお、性的指向とは、性的な魅力をどのような相手に感じるか、感じないかという概念のこと。性自認とは、自分が自分の性別をどのように認識しているかということ。

た 行

■男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会のこと。

■地域包括ケアシステム

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が包括的に提供される仕組みのこと。地域包括ケアシステムにおける地域の範囲は、「おおむね30分以内にサービスが提供できる日常生活圏（例として中学校区の単位等）」とされており、圏域の地域包括支援センターを中心に、介護サービス事業者や関係機関が連携して構築に取り組んでいる。

は 行

■PDCAサイクル

Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の仮説・検証型プロセスを循環させ、マネジメントの品質を高めようという概念。

■フレックスタイム

一定の期間についてあらかじめ定めた総労働時間の範囲内で、労働者が日々の始業・終業時刻、労働時間を自ら決めることのできる制度のこと。労働者は仕事と生活の調和を図りながら効率的に働くことができる。

■包摂的な社会

全ての人々を排除せず、ともに生きることができる社会を目指す考え方のこと。

ま 行

■マタニティ・ハラスメント

働く女性が妊娠・出産を理由に解雇・雇止めをされることや、妊娠・出産に当たって職場で受ける精神的・肉体的なハラスメントのこと。

ら 行

■ライフステージ

人間の一生において、出生・入学・卒業・就職・結婚・出産・子育て・介護・退職等、節目となる出来事によって区分される生活環境の段階のことをいう。

■テレワーク

職場から離れた場所で仕事を行う勤務形態のこと。在宅勤務等。

■レジリエント

回復力や弾性（ひずみを元に戻す性質）等の意味を持つ英語。人や組織等のビジネス分野でもレジリエントの言葉が使われる。例えば、ビジネス上の危機等、困難な状況に対処するしなやかさや強靱な回復力を身に付け、問題点の解決や人・組織の成長につなげていくというもの。自然災害等からの回復力の意味にもレジリエントが使われる。

わ 行

■ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活、自己啓発等も充実させること。

2. 吉野ヶ里町男女共同参画基本計画策定委員会 委員名簿

	所属等	氏名（敬称略）
1	識見を有する者 （アバンセ館長、認定NPO法人 被害者支援ネットワーク 佐賀VOISS理事長）	田口 香津子
2	識見を有する者 （特定非営利活動法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会）	石橋 裕子
3	農業関係者 （JAさが神埼地区女性部 三田川支部 部長）	安武 理恵
4	吉野ヶ里町区長会 （田手村地区 区長）	古賀 政信
5	吉野ヶ里町商工会女性部 （理事）	田中 美智子
6	町内企業の代表者 （田中電子工業株式会社 経営管理部長）	匝瑳 洋平
7	民生委員児童委員	徳安 和子
8	人権擁護委員	豊留 和則
9	公的機関関係者 （町立東脊振中学校 校長）	福田 泰司
10	公的機関関係者 （アバンセ 男女共同参画事業部長）	西川 宗邦
	オブザーバー （吉野ヶ里町 副町長）	中島 武子

3. 計画策定の経緯

年月日	内 容
令和7年9月1日～ 9月16日	アンケート調査の実施 ・18歳以上の町民（2,000人） ・町内の中学3年生（170人） ・町職員全員（152人） ・本町に所在する事業所（39事業所）
令和7年11月13日	第1回 吉野ヶ里町男女共同参画基本計画策定委員会 (1)「第3次吉野ヶ里町男女共同参画基本計画」の策定に当たって (2)「吉野ヶ里町の現状」について (3) アンケート調査結果 (4) 現行計画の進捗状況
令和7年12月25日	第2回 吉野ヶ里町男女共同参画基本計画策定委員会 (1)「第3次吉野ヶ里町男女共同参画基本計画」素案について (2) 計画の名称について
令和8年1月20日	第3回 吉野ヶ里町男女共同参画基本計画策定委員会 (1)「第3次吉野ヶ里町男女共同参画基本計画」案について
令和8年2月2日～ 2月11日	パブリックコメントの実施
令和8年3月	吉野ヶ里町議会 3月定例会で報告

4. アンケート調査結果（概要）

1. 概要

《実施期間》 令和7年9月1日～9月16日

《対象者及び回収率》

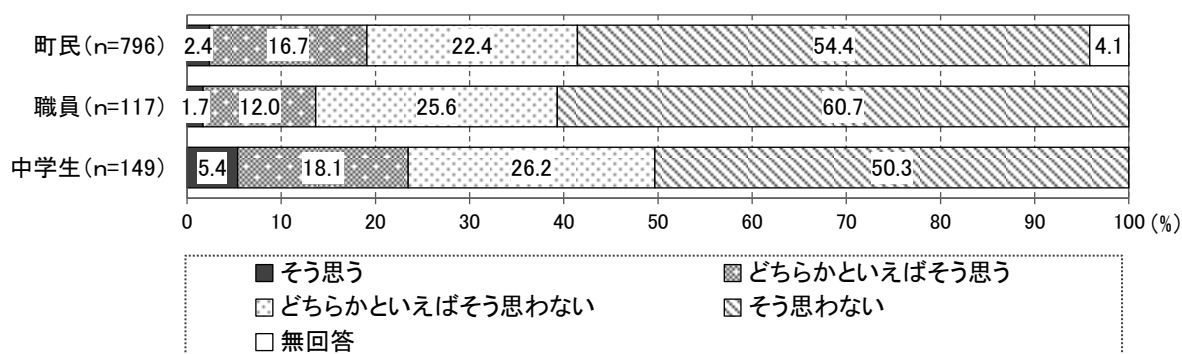
対象者	対象人数	回収数	回答率
18歳以上の町民	2,000人	796人	39.8%
町内の中学3年生	170人	149人	87.6%
町職員全員	152人	117人	77.0%
本町に所在する事業所	39事業所	17事業所	43.6%

2. 調査結果

（1）結婚や家庭生活について

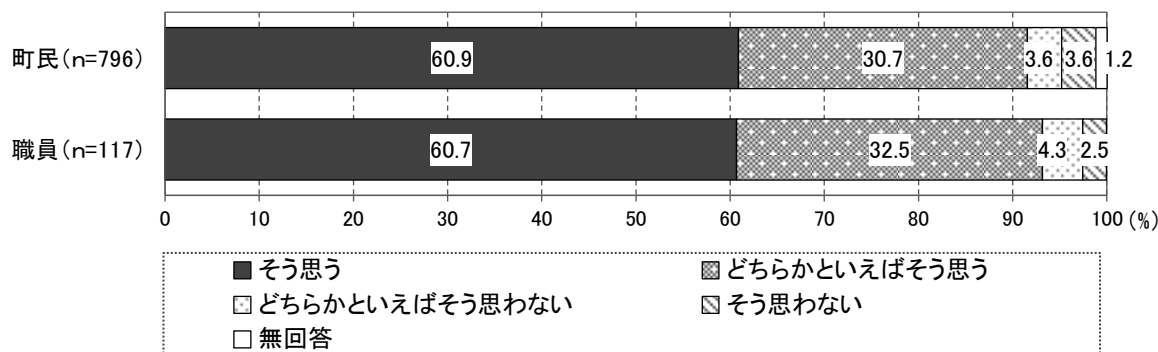
問 夫婦のあり方について、あなたの考えに近いものはどれですか。

① 夫（男性）は外で働き、妻（女性）は家庭を守るべきである



◇「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合は、町民で76.8%、職員で86.3%、中学生で76.5%です。

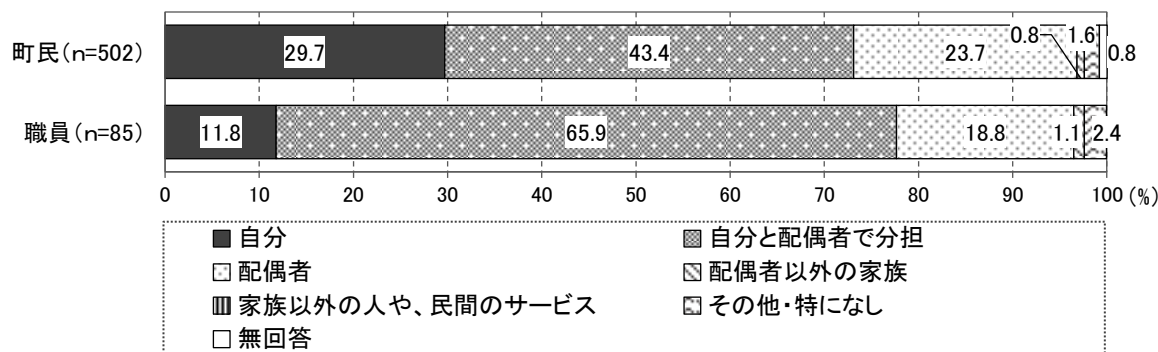
② 夫（男性）も妻（女性）も仕事と家庭を両立できる方がよい



◇「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合は、町民で91.6%、職員で93.2%です。

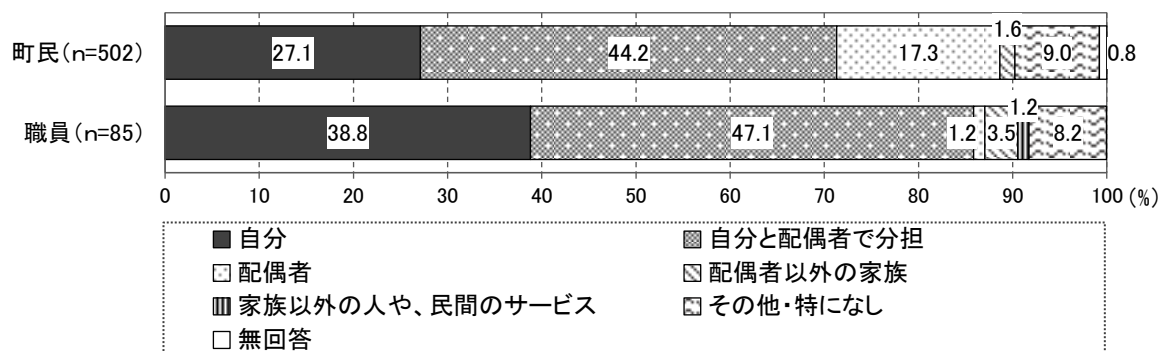
問 あなたの家庭で、生活に必要な家事等は、主に誰の役割ですか。

① 掃除・洗濯



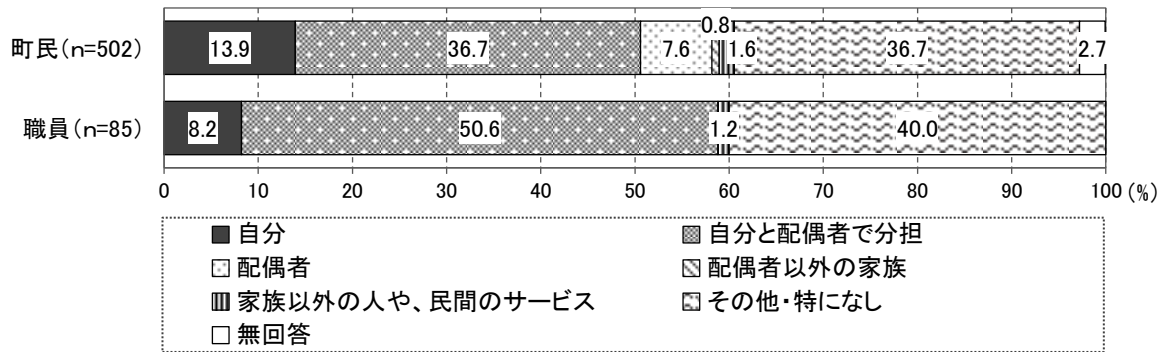
◇「自分と配偶者で分担」の割合は、町民で43.4%、職員で65.9%です。

② 町内会等の地域活動への参加



◇「自分と配偶者で分担」の割合は、町民で44.2%、職員で47.1%です。

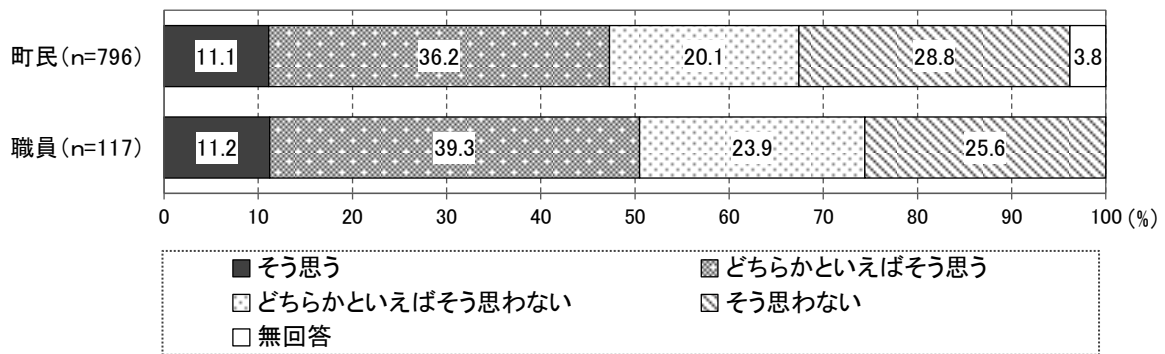
③ 家族の世話（介護・看護）



◇「自分と配偶者で分担」の割合は、町民で 36.7%、職員で 50.6%です。

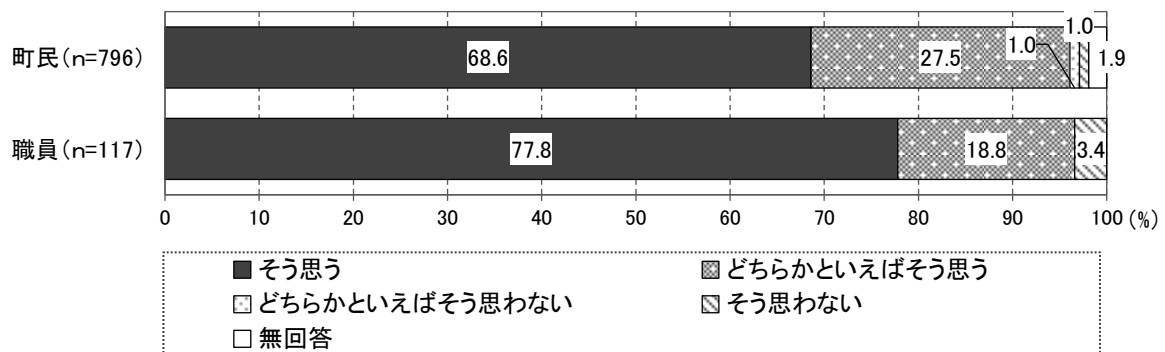
問 こどもの育て方について、あなたの考えに近いものは何ですか。

① 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる



◇「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合は、町民で 47.3%、職員で 50.5%です。

② 女の子も男の子も、個性や才能を發揮できるように育てる

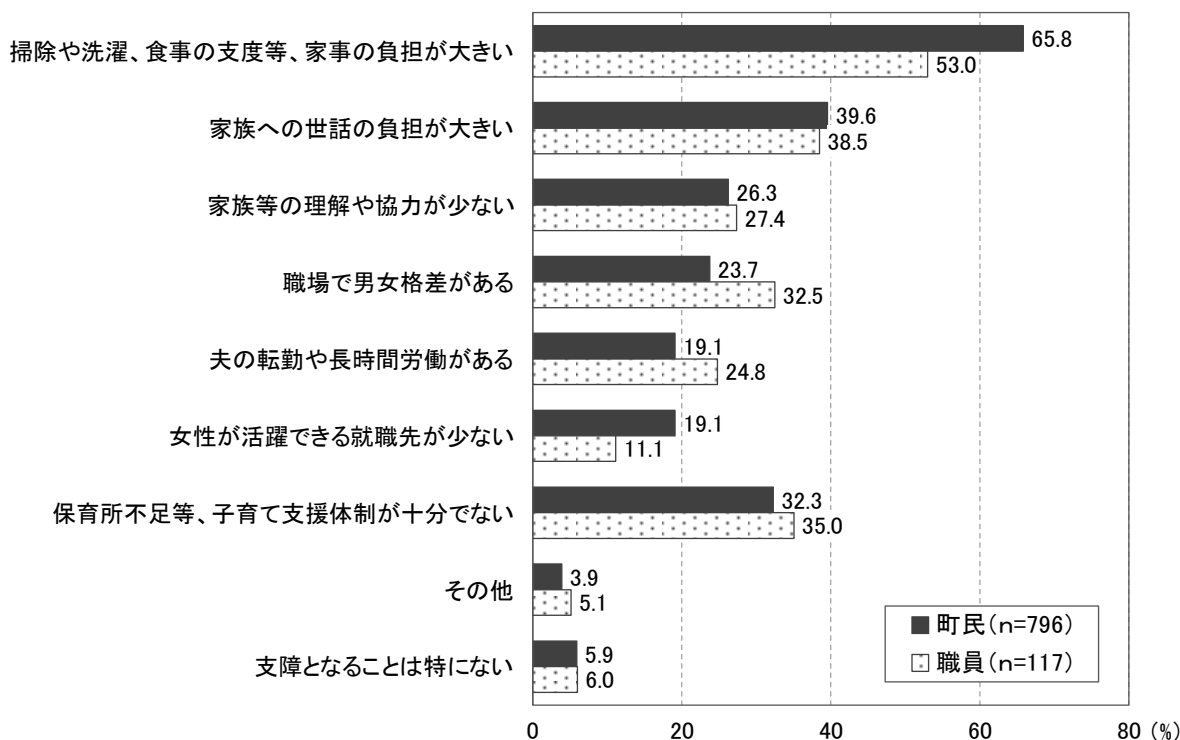


◇「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合は、町民で 96.1%、職員で 96.6%です。

(2) 仕事と生活について

問

あなたは、女性が働くうえで支障となるのはどのようなことだと思いますか。
【複数回答可】

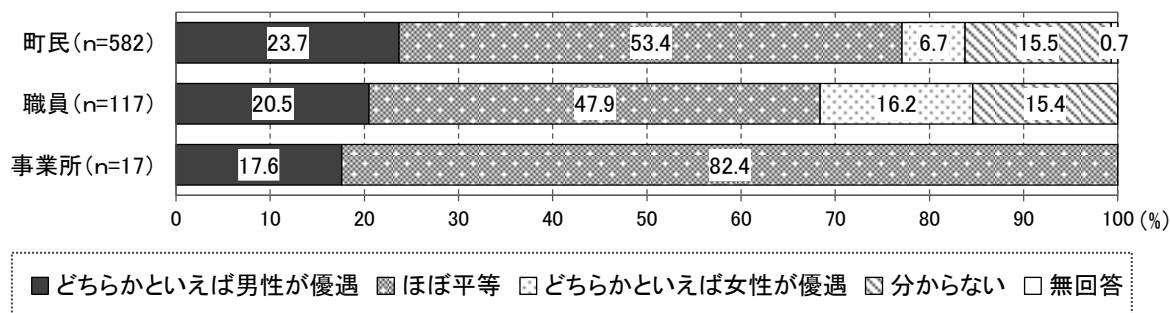


◇町民、職員ともに、「掃除や洗濯、食事の支度等、家事の負担が大きい」の割合が最も高く、次いで、「家族への世話の負担が大きい」、「保育所不足等、子育て支援体制が十分でない」の順となっています。

問

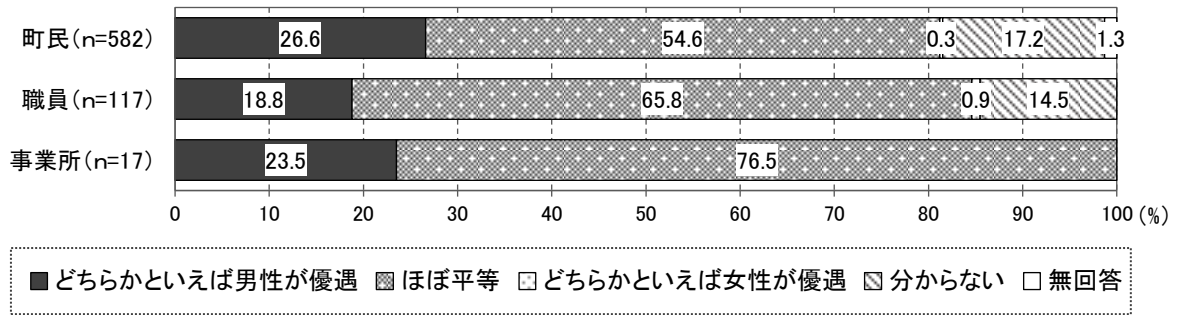
現在、あなたの働く場では、女性と男性は平等だと思いますか。

① 募集・採用



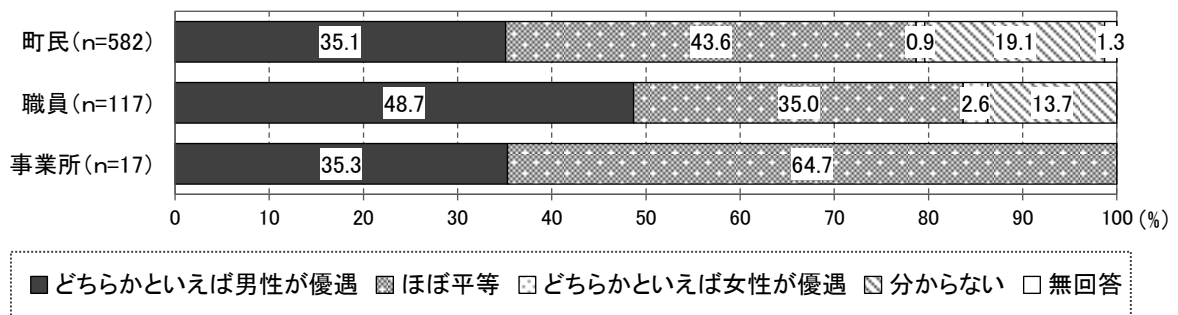
◇「ほぼ平等」の割合は、町民で53.4%、職員で47.9%、事業所で82.4%です。

② 賃金・昇給



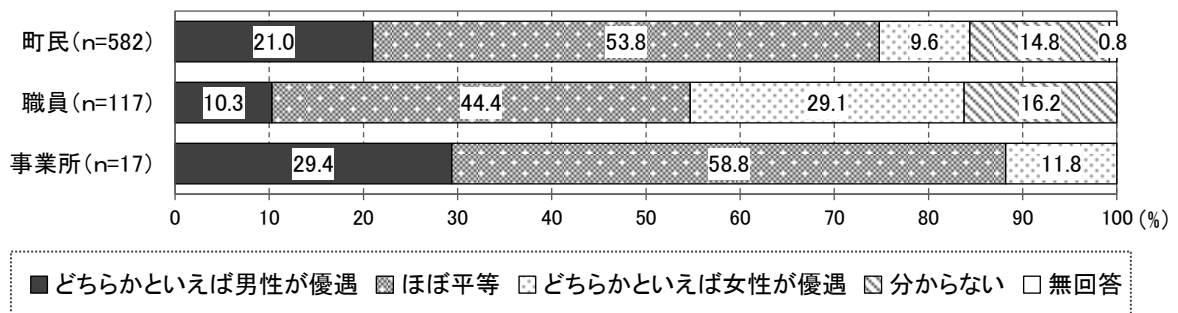
◇ 「ほぼ平等」の割合は、町民で 54.6%、職員で 65.8%、事業所で 76.5%です。

③ 昇進や昇格



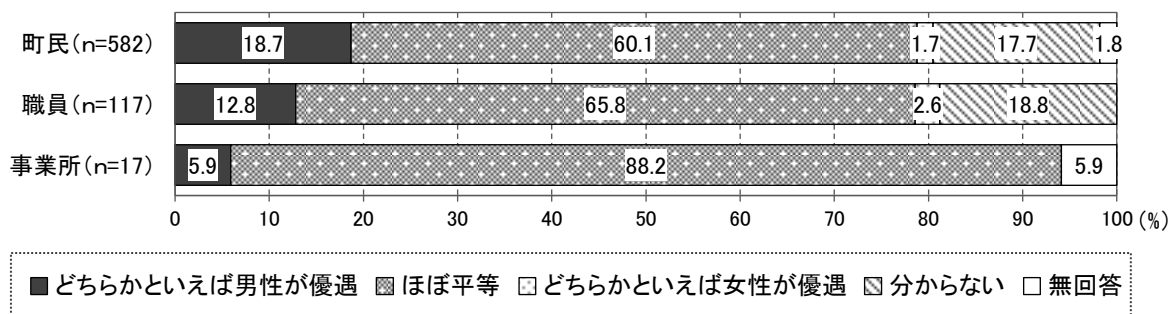
◇ 「ほぼ平等」の割合は、町民で 43.6%、職員で 35.0%、事業所で 64.7%です。

④ 仕事の内容



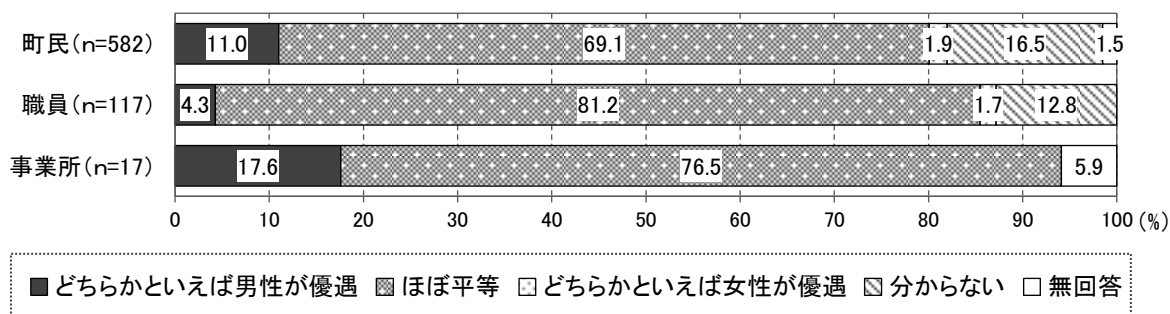
◇ 「ほぼ平等」の割合は、町民で 53.8%、職員で 44.4%、事業所で 58.8%です。

⑤ 能力評価・査定



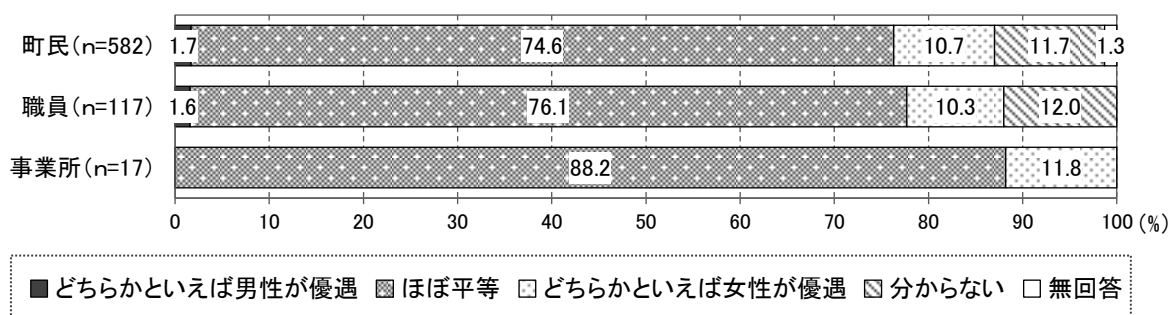
◇ 「ほぼ平等」の割合は、町民で60.1%、職員で65.8%、事業所で88.2%です。

⑥ 教育訓練や研修



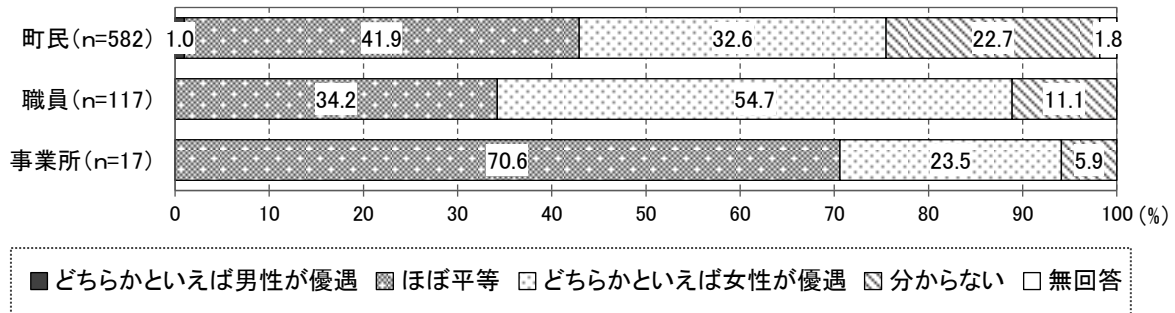
◇ 「ほぼ平等」の割合は、町民で69.1%、職員で81.2%、事業所で76.5%です。

⑦ 有給休暇の取得



◇ 「ほぼ平等」の割合は、町民で74.6%、職員で76.1%、事業所で88.2%です。

⑧ 育児休業・介護休業等の取得

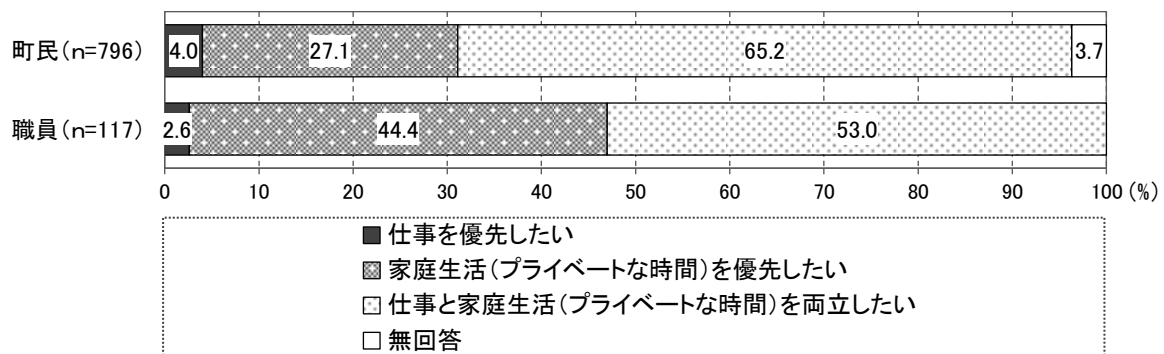


◇「ほぼ平等」の割合は、町民で41.9%、職員で34.2%、事業所で70.6%です。

問

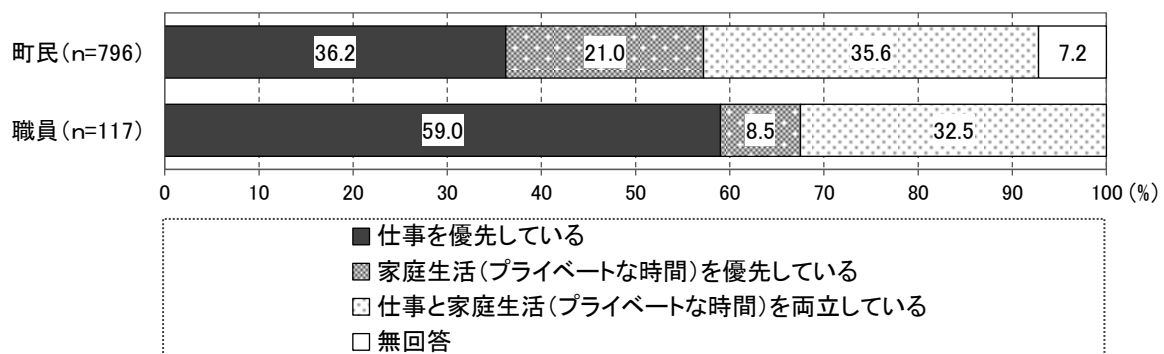
日常生活の「仕事」と「家庭生活」のバランスについて、
①希望する優先度と、②実際の優先度をお答えください。

① あなたの希望する（理想とする）優先度



◇「仕事と家庭生活(プライベートな時間)を両立したい」の割合は、町民で65.2%、職員で53.0%です。

② 実際の(現実の)優先度



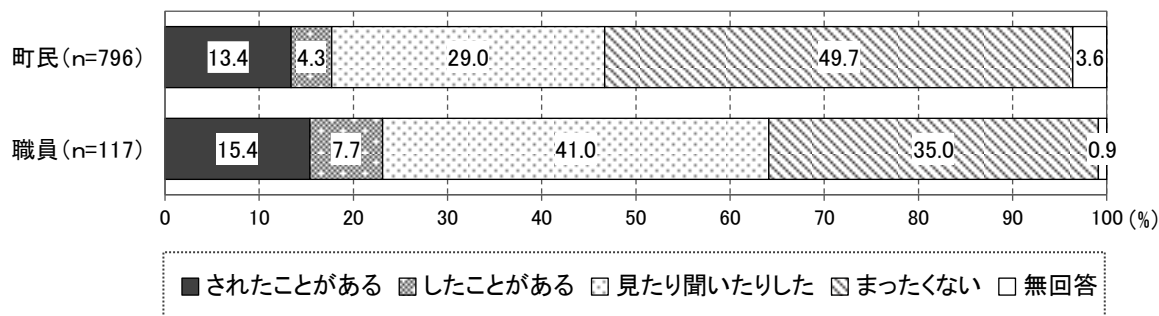
◇「仕事と家庭生活(プライベートな時間)を両立している」の割合は、町民で35.6%、職員で32.5%です。

(3) 女性の権利擁護や人権尊重について

問

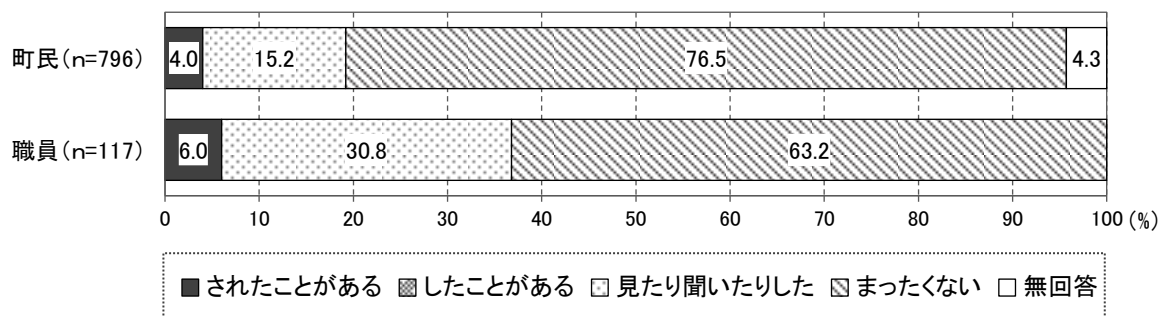
これまでにセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)をしたり、されたり、見聞きしたことがありますか。

① 年齢や容姿をからかう



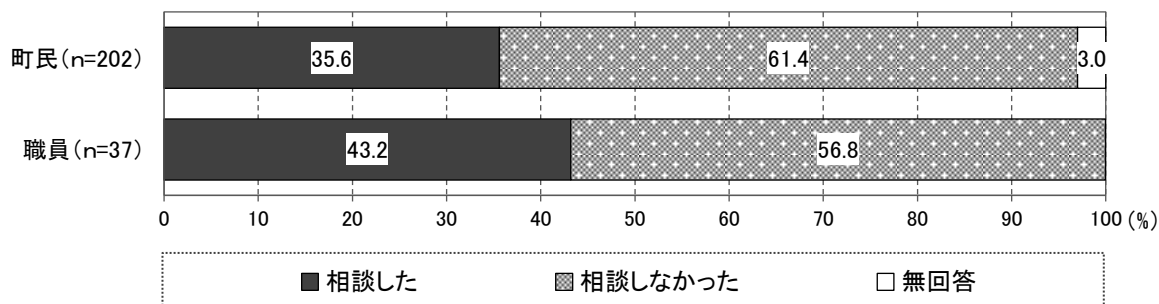
◇ 「されたことがある」の割合は、町民で13.4%、職員で15.4%です。

② 地位や権限を利用して、しつこく誘ったり性的な関係を迫ったりする



◇ 「されたことがある」の割合は、町民で4.0%、職員で6.0%です。

③ そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。※1つでも「されたことがある」と答えた人。

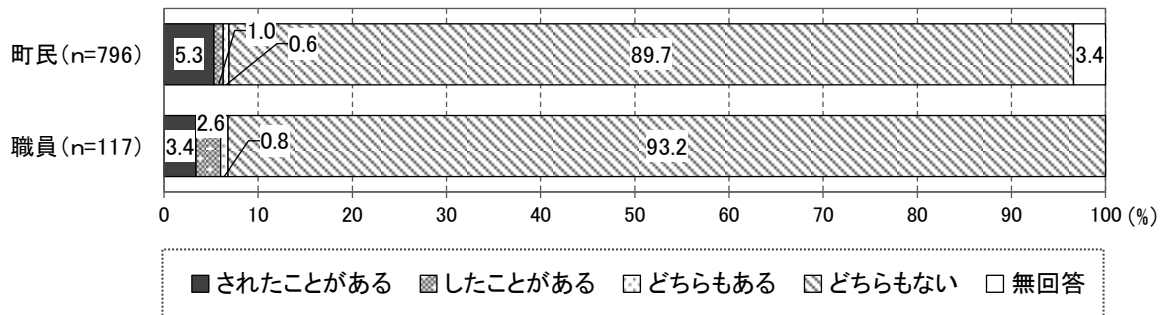


◇ 「相談しなかった」の割合は、町民で61.4%、職員で56.8%です。

問

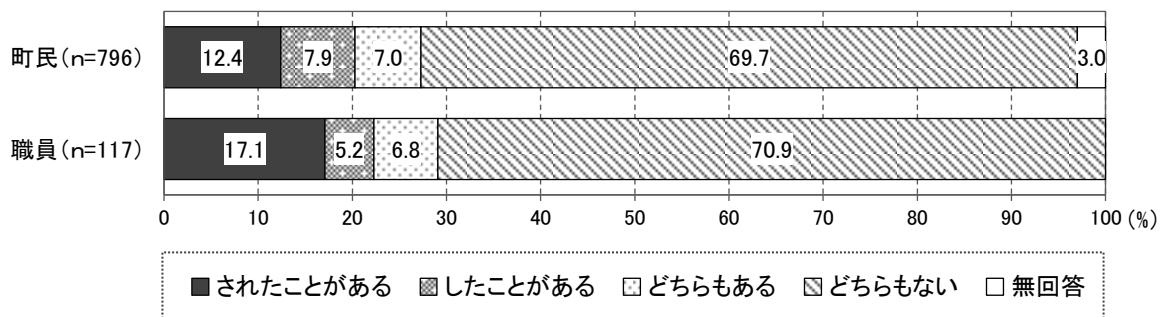
夫婦や恋人同士等の親しい間柄で、今までに次のようなことをしたり、されたりしたことがありますか。

① 望まない性的行為の強要



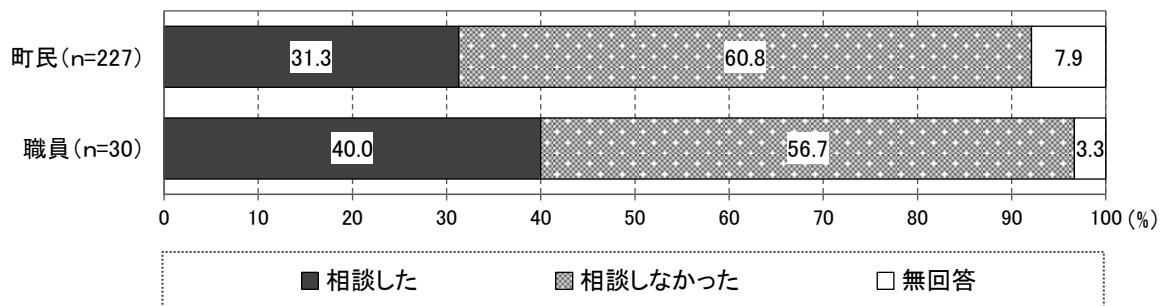
◇ 「されたことがある」の割合は、町民で5.3%、職員で3.4%です。

② 大声でどなる、威圧的な物言いをする



◇ 「されたことがある」の割合は、町民で12.4%、職員で17.1%です。

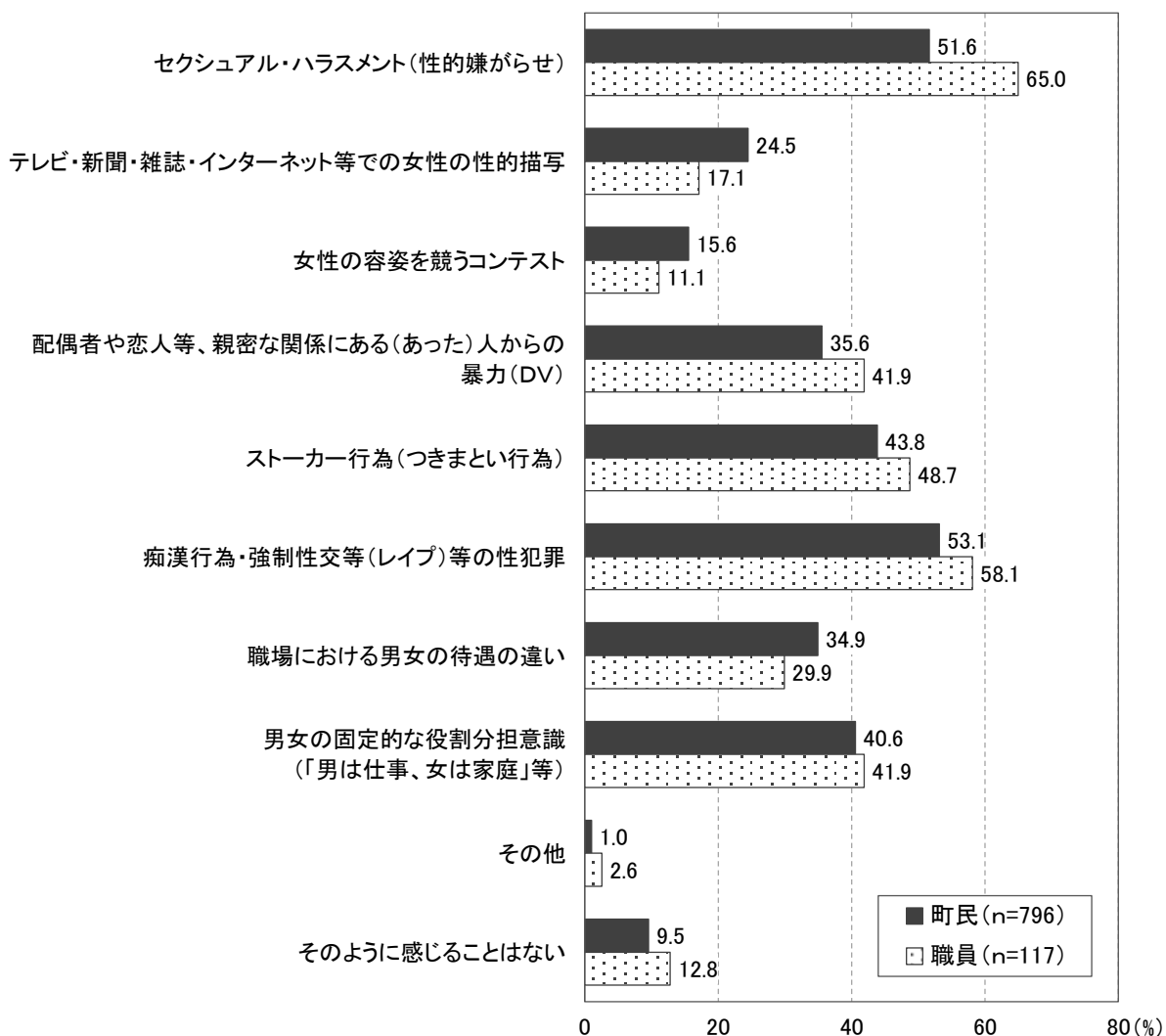
③ そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。 ※1つでも「されたことがある」・「どちらもある」と答えた人。



◇ 「相談しなかった」の割合は、町民で60.8%、職員で56.7%です。

問

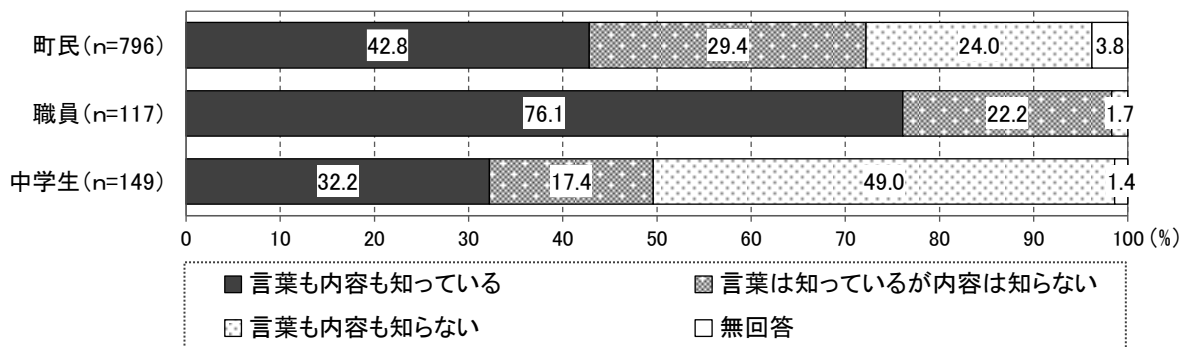
女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。
【複数回答可】



◇町民、職員ともに、「セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)」、「痴漢行為・強制的性交等(レイプ)等の性犯罪」、「ストーカー行為(つきまとい行為)」の割合が高くなっています。

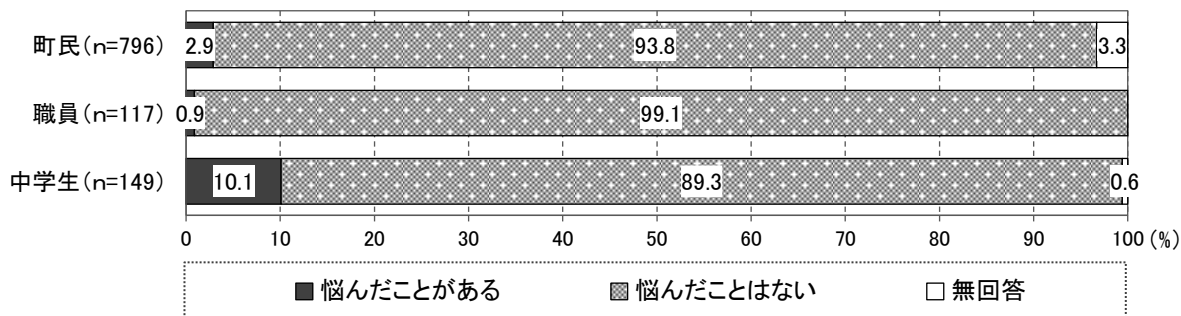
(4) 性の多様性について

問 「LGBTQ+」という言葉を知っていますか。



◇「言葉も内容も知っている」の割合は、町民で42.8%、職員で76.1%、中学生で32.2%です。

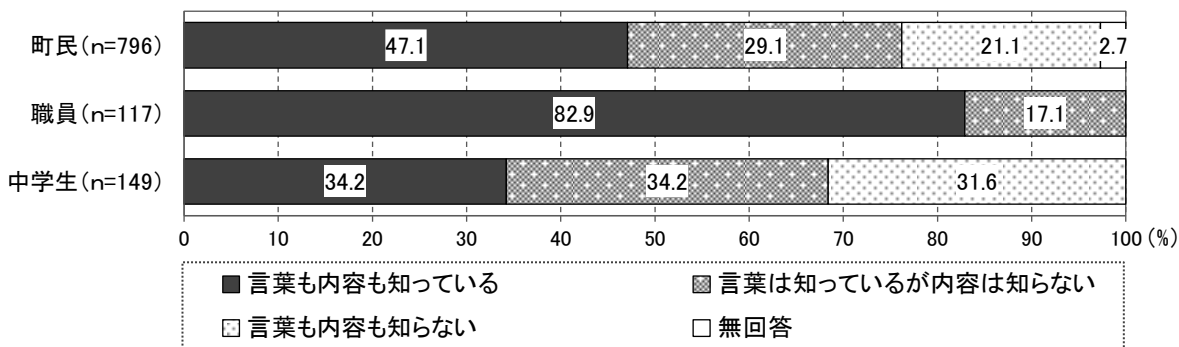
問 あなたは今までに自分のからだの性、こころの性または性的指向(同性愛等)に悩んだことがありますか。



◇「悩んだことがある」の割合は、町民で2.9%、職員で0.9%、中学生で10.1%です。

(5) 男女共同参画について

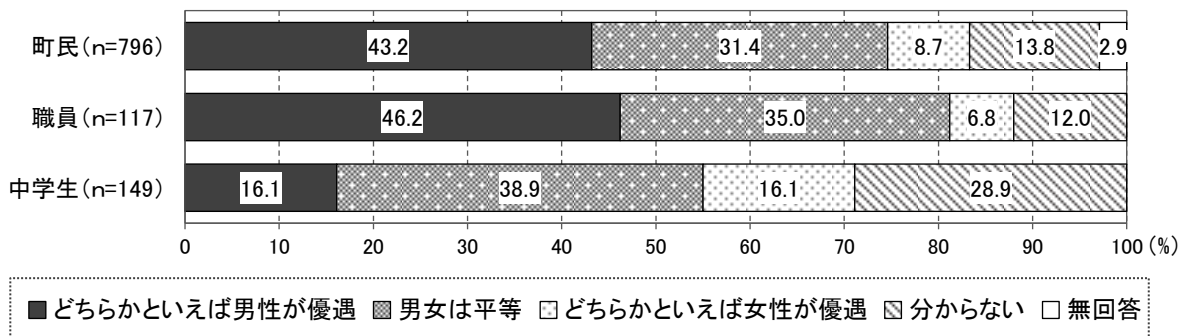
問 あなたは「男女共同参画」という言葉を知っていますか。



◇「言葉も内容も知っている」の割合は、町民で47.1%、職員で82.9%、中学生で34.2%です。

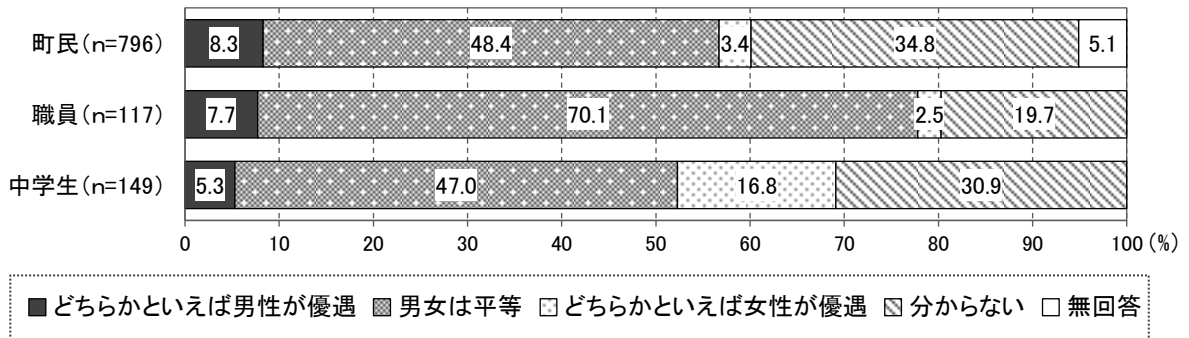
問 あなたは、今の社会では男女は平等になっていると思いますか。

① 家庭の中で



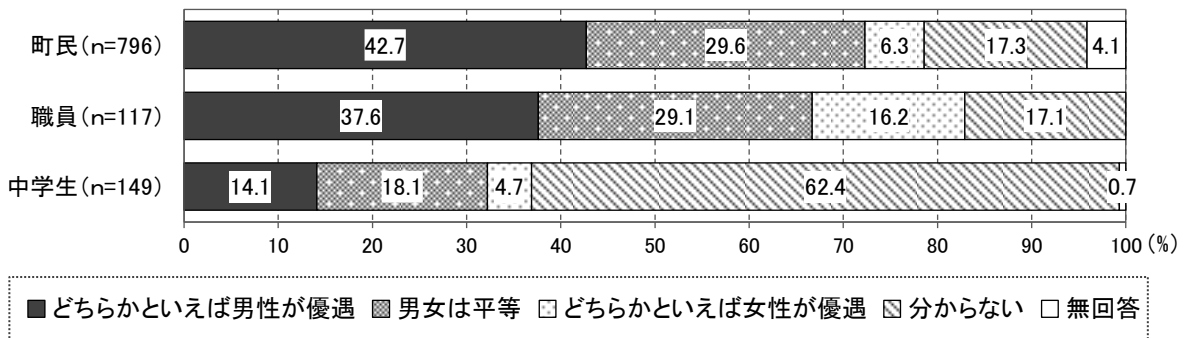
◇「男女は平等」の割合は、町民で31.4%、職員で35.0%、中学生で38.9%です。

② 学校の中で



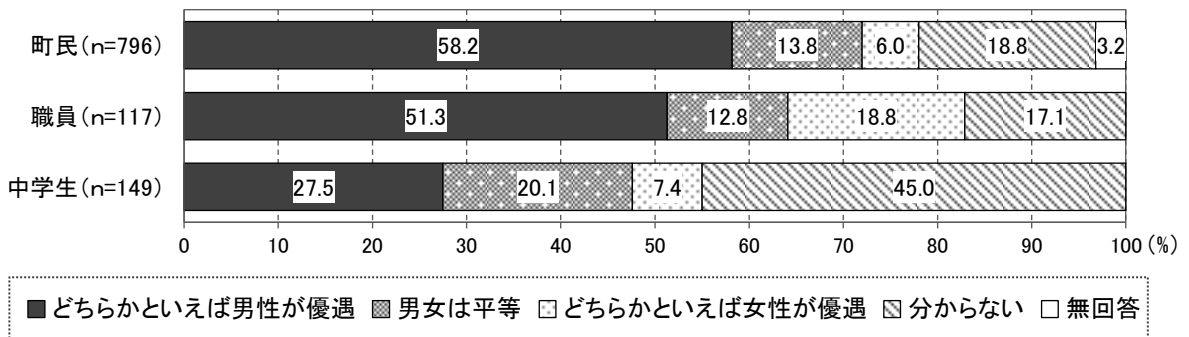
◇「男女は平等」の割合は、町民で48.4%、職員で70.1%、中学生で47.0%です。

③ 仕事の場で



◇「男女は平等」の割合は、町民で29.6%、職員で29.1%、中学生で18.1%です。

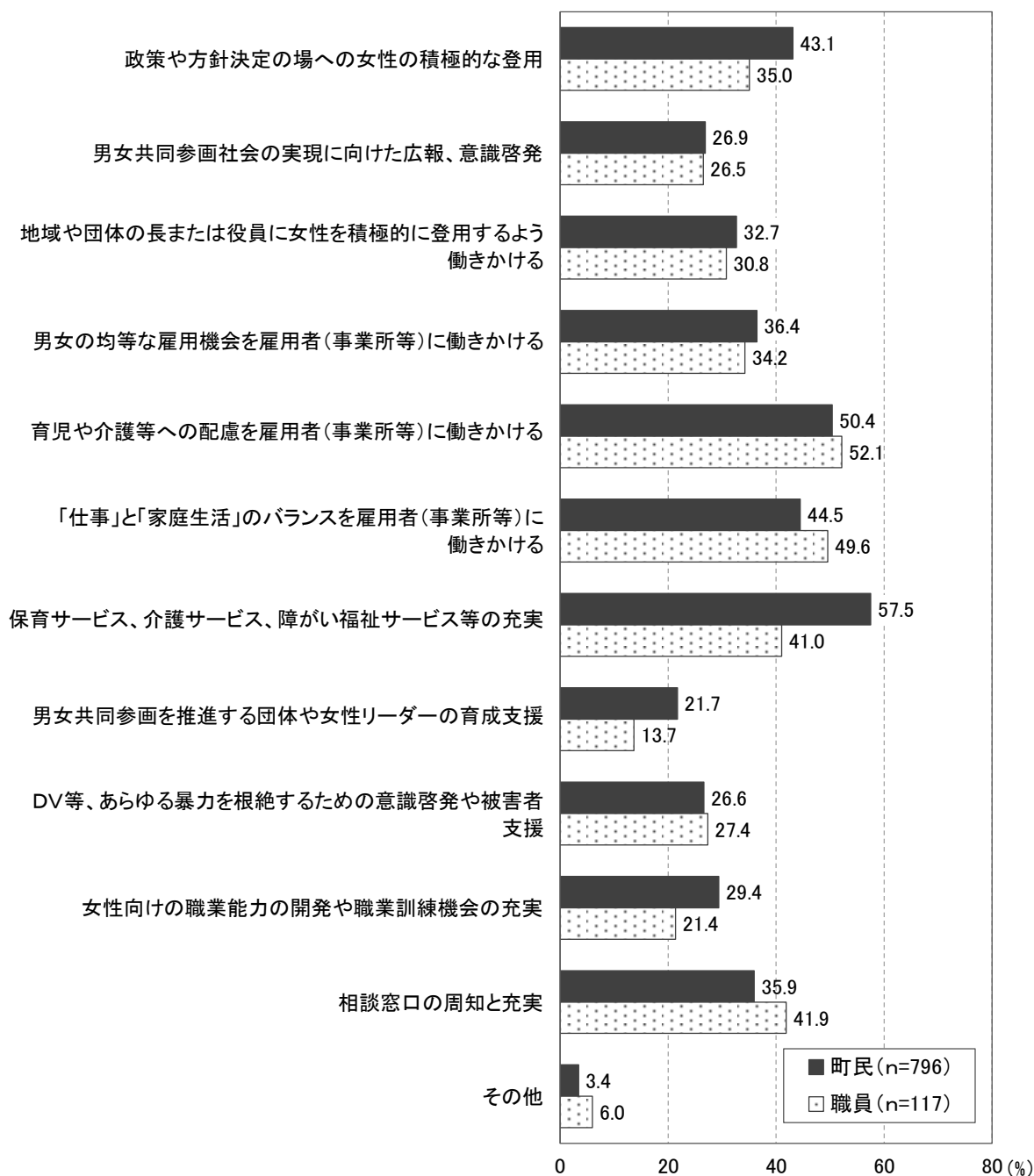
④ 社会全体で



◇「男女は平等」の割合は、町民で13.8%、職員で12.8%、中学生で20.1%です。

問

男女共同参画社会の実現を目指し、今後、吉野ヶ里町はどのようなことにか
 を入れればよいと思いますか。【複数回答可】



◇町民では、「保育サービス、介護サービス、障がい福祉サービス等の充実」が57.5%で最も高く、次いで、「育児や介護等への配慮を雇用者(事業所等)に働きかける」、「『仕事』と『家庭生活』のバランスを雇用者(事業所等)に働きかける」の順となっています。

◇職員では、「育児や介護等への配慮を雇用者(事業所等)に働きかける」が52.1%で最も高く、次いで、「『仕事』と『家庭生活』のバランスを雇用者(事業所等)に働きかける」、「相談窓口の周知と充実」の順となっています。